

感想

何気なく運転している中で危険予測、危険予知の大事さを改めて認識しました。

その日の気持ちや焦っているときなど、ほとんど見えていないということを知りました。自分が運転する機会も増えているので、気持ちに余裕を持って行くこと、危険を予測すること、しっかり視ること、心がけていきたいと強く思いました。

車の運転はしませんが、自分が自転車に乗っているとき、歩行時事故を起こさない為の、予測や認知などとても大事だということをあらためて感じました。

危険を予測することの重要性を改めて感じました。また、予測できる為に自身や周りの環境を整えていなければならないと思いました。日頃の運転について見直し、考えるいい機会になりました。

ビデオは、講義はわかりやすかった。予測をするという事は大切だと改めて思いました。又あせると判断力が低下するので余裕を持った行動が必要であり、いつも忙しく行動運転しているため、改めて注意していこうと思いました。又寝不足や疲れが激しい時に運転すると判断力が鈍っており何回か危なかったと思ったことはあるので精神・健康面を整えて運転して行きたいと思えます。

免許を取って数十年、ゴールド免許ではあるが改めて再確認しなければいけないと思いました。特にビデオを見ての危険予知訓練は良い体験 になりました。毎日の運転、心に余裕を持ち安全運転を心がけていきたいと思えます。

運転は生活の一部になっているので、何の抵抗もなく乗っていましたが、自分を正しく知ることから始まり、心のゆとり、時間を持ち「だろう運転ではなく」「かもしれない運転」でまわりを認知することをいま一度心にためて運転して行きたいと思えました。

車を運転するのが怖くなりました。しばらく慎重な運転をすることができそうです。講師の方が、イキイキしていて、元気をもらえました。危険予測運転は大切なんだと改めて気をひきしめようと思いました。不特定多数の人が運転する環境ですが、一人一人が気をつけていくことが、大切だと思います。技術テスト的なものもしっかりした方がいいと思えます。

交通事故とは、偶然おこっている(おこす)のではなく、運転者の生活全般が関わっているという事を知りました。車の運転はしませんが、助手席等に座った時に、今日の講義を思い出してヒューマンエラーについて考えてみたいです。

自分の運転を振り返り、ヒヤリハツとする場面がある。「どうして起きたかをつきとめる」大切さを講習で学んだ。原因をつきとめる事で、自分の運転に対しての対策を考える事ができる。今までは、ビックリしたなあ・・・で終わっていた事を分析し、生かしていこうと感じた。

自分の場合は「ゆとり」が少し足りないことが多い「ゆとり」を生む為の「ゆとり」を持つ為にどうすれば良いか考える良い機会だったと思う。あきずに終える事ができた。

運転に慣れ時に「ヒヤッ」とする場面が何度かあったことを思い出した。改めて認知の确实にして危険予測の大切さを感じた時間でした。日々の運転にいかして行きたいと思えます。

今回の研修会では「ヒューマンエラー」の予防が交通事故の減少につながるという事を知りました。「~だろう」と思うとリスクの可能性が増大していく、やはり「~かもしれない」という心がまえ、準備をしていく事が運転を行う際に重要だと感じた。運転業務は利用者の生命にも関わる重要な仕事なので、ヒューマンエラーの予防に努めていきたい。

送迎担当として、連絡ミスや利用者の欠席で急な時間変更があるので、ヒューマンエラーを起こす原因を作ってしまったと反省させられる内容でした。ドライバーが余裕を持って認知・危険予測ができるように体制や準備を整えていきたいと思いました。

あまり運転をすることがないのですが、ヒューマンエラーの予防についてのお話などは、日々の仕事にも生かせることだと思いました。危険予知訓練などは、あまり運転しないということもあり予測しきれない部分もあると思うので、少しずつ運転しながら経験を重ねていきたいと思います。

ペーパードライバーの私にとっては、とてもためになるお話が“沢山”でした。特に危険予測のトレーニングでは、普段運転をしている人はどのような目で道路状況を見ているのか、やはり自分とは違うところを見ていて、予測の仕方・見方というところが勉強になりました。お話が面白く、とても興味を持って聞かせて頂くことが出来ました。

始めのセルフ診断、ビデオ鑑賞などを観て、自分の運転のしかたについて再度考えさせられた。危険予測などしているつもりでいるが、急いでいるときなど忘れがちになってしまうので、急がない準備などを前々から行っていかなくてはと思いなおせた。今日の講義を忘れない様に日々の運転で活かしていきたい。議事

私は車を運転する時は、自宅の車くらいなので、あまり運転をする機会はありません。今でもドキドキして運転しています。しかし、やはり免許をとったばかりの時よりは心の余裕というか、油断ができていると思います。確認しているつもりでも、していない時は沢山あり、でも今まで無事故なのは、たまたまであると思います。気を抜かず日々の運転が必要であると改めて感じました。活動中に運転ができるように、自宅での運転で技術をみがきたいと思います。

初めてこのような講習を受けました。日頃からハンドルを握る際には、気を引き締めているつもりですが、さらに危険の予測をしながら運転しなければと改めて感じました。

わかりやすい説明とビデオでの大事なことを訴えたあたり、相手の動き常に危険を予測しながら安全にたもつということを指導されつつ、これから運転するにあたり、認知・判断・運転に集中して事故等のないように運転に努めます。

運転だけではなく、普段の仕事や生活にも応用が効く講習でした。特に予測して行動をする、行うべき手順を省略しないなど、利用者さんと車に乗っている時、運転に集中するのは中々難しいのでスケジュール管理をしっかり行って、余裕のある行動を心がけたい。

業務の中で、訪問や送迎など運転する機会が多いので、今日の研修は学ぶこと事が多かったです。今まで何となくとしか意識してこなかった安全運転についても、「安全不確認」「静動不注意」など具体的な分類で示して頂いたので、整理して考えることができました。福運の研修も含め、運転に関する研修は初めてではありませんが、今後毎年一度位ずつ定期的に、このような研修を行って頂きたいと思います。

電話番号のため、事務室待機で詳しくは聞くことは出来ませんでしたが、日常何気なく運転をしている中、安全運転を再確認できる良い機会だと感じました。